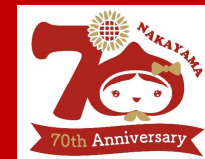


中山町公共施設等総合管理計画について

令和6年10月29日
中山町総務広報課 防災案円対策室

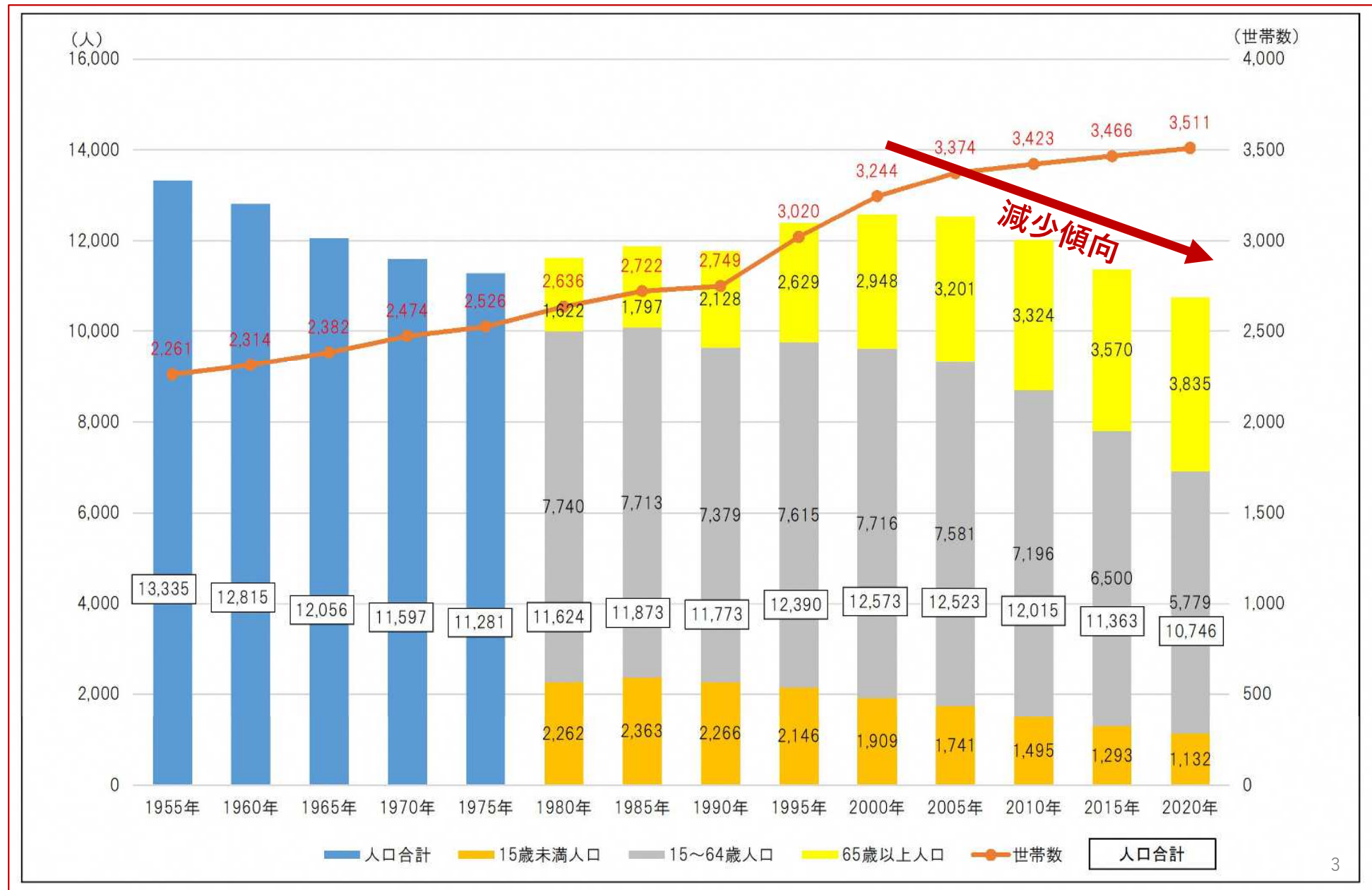


策定背景と目的

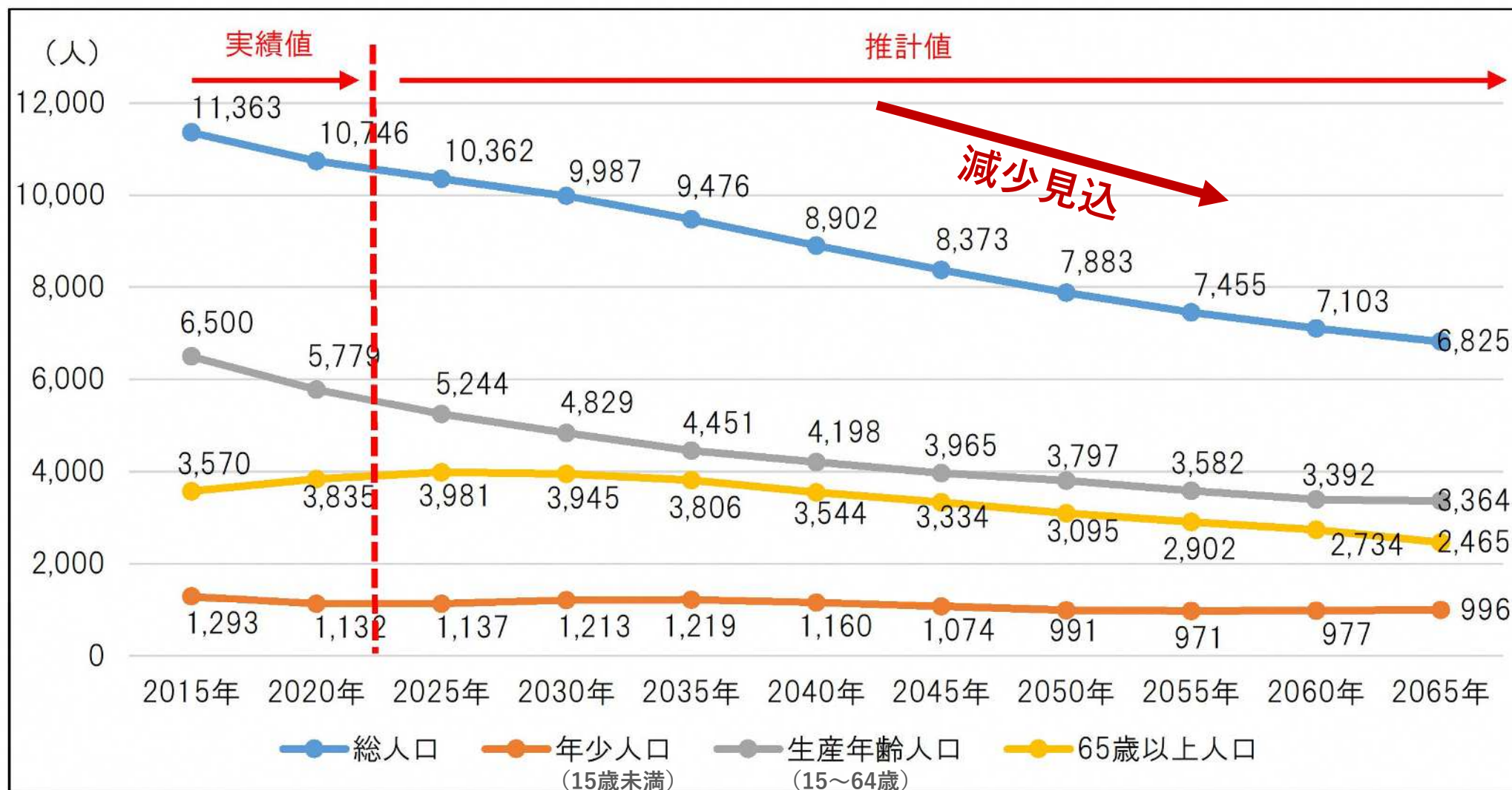


- 全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっており、長期的な視点で更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行い、**財政負担の軽減・平準化とともに、公共施設の最適化**が求められる。
- 中山町では、橋梁や道路などのインフラも含めた公共施設全般に関して基本的な考え方などをまとめた「**中山町公共施設等総合管理計画**」を平成28年度に策定し、これに基づき、個別施設計画を順次策定してきた。
- 当初の総合管理計画策定から一定の期間が経過するとともに、国のインフラ長寿命化計画が見直されたことに伴い、**令和5年度に総合管理計画の改訂**を実施した。

人口及び世帯数の推移



将来の人口推計



人口減少 → 利用者数の減少が見込まれる

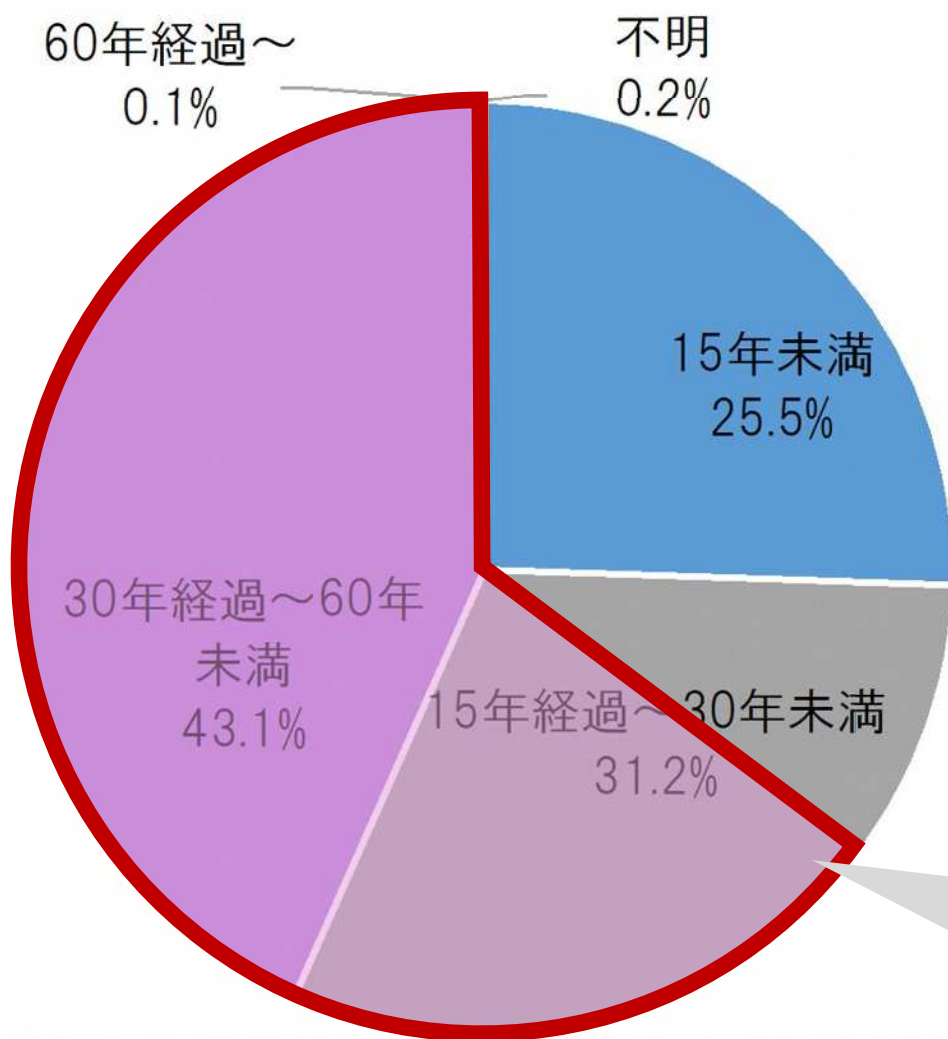
年齢構成比率の変化 → 公共施設に対するニーズの変化が予想される

施設整備等に求めること（1/3）



**（1）人口動向や住民ニーズなど、様々な変化
に合わせた公共施設の整備**

公共施設の築年数別の延床面積



	延床面積 (㎡)	構成比
15年未満	13,940.0	25.5%
15年経過～30年未満	17,037.4	31.2%
30年経過～60年未満	23,535.3	43.1%
60年経過～	53.0	0.1%
不明	100.1	0.2%
合計	54,665.7	100.0%

築30年以上
現時点 43.3% → 3年後 **64.0%**
(見込み)

→古い施設が増え、建て替えや改修などにかかる経費が増えることが予想される。

施設整備等に求めること（2/3）



- (1) 人口動向や住民ニーズなど、様々な変化に合わせた公共施設の整備
- (2) 施設・設備の老朽化に対する大規模改修や更新などの適切な対応

長寿命化しない施設：必要に応じて修繕等を実施

長寿命化する施設：予防保全的な視点に立ち、計画的に大規模な改修を実施

普通会計歳出の推移



扶助費や人件費などの義務的経費の増
 →老朽化施設のために投資的経費や維持補修費を増やすことが難しくなる。

将来の更新費用等の見通し



区分	直近5年間実績額	今後の更新費用等30年間試算額の1年あたりの平均額（30年間総額）		比較イーア
	単年度平均A	長寿命化対策を実施しない場合ア	長寿命化対策を実施する場合イ	
公共施設	2.1億円	8.9億円 (267.9億円)	6.7億円 (201.1億円)	△2.2億円 (△66.8億円)

- (1) 1年あたりの更新費用等を長寿命化対策を実施する場合と実施しない場合とで比較すると…

長寿命化を**実施する場合** < 長寿命化を**実施しない場合**

- (2) 更新費用等の直近の実績額平均と長寿命化を実施する場合の試算額とを比較すると…

長寿命化を実施する場合の試算額は直近の実績額平均の**約3.2倍**

→長寿命化対策を実施したとしても、公共施設を現状のまま維持するのは財政的に難しいことが予想できる。

施設整備等に求めること（3/3）



- (1) 人口動向や住民ニーズなど、様々な変化に合わせた公共施設の整備
- (2) 施設・設備の老朽化に対する大規模改修や更新などの適切な対応
- (3) 統合や複合化等による公共施設全体規模の縮小や維持管理経費の軽減、予防保全型管理による修繕・改修費用の縮減、及び計画的な長寿命化対策による更新費用の平準化